

伊藤 祥史

いとう しょうじ

伊藤 祥史 Syouji Itou

- 健康科学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻 学科長 教授
- 大学院 保健学研究科 健康増進・障害予防学領域 教授
- 附属図書館長

学歴・学位

広島大学大学院保健学研究科保健学専攻 博士課程前期 修了 修士（保健学）
県立広島大学大学院総合研究科生命システム科学専攻 博士課程後期 修了 博士（生命システム科学）

主要職歴

昭和 61 年 4 月～平成 5 年 8 月	医療法人社団光仁会 梶川病院 理学療法士
平成 5 年 9 月～平成 6 年 12 月	医療法人社団慶寿会 千代田中央病院 理学療法士
平成 7 年 1 月～平成 18 年 3 月	医療法人社団 井野口病院 理学療法士
平成 18 年 4 月～平成 25 年 3 月	広島医療保健専門学校 理学療法学科 専任教員
平成 25 年 4 月～令和 2 年 3 月	広島都市学園大学健康科学部リハビリテーション学科理学療法専攻 准教授
令和 2 年 4 月～令和 4 年 3 月	広島都市学園大学健康科学部リハビリテーション学科理学療法専攻 教授 大学院保健学研究科 教授 広島医療保健専門学校 教務部長
令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月	広島都市学園大学健康科学部リハビリテーション学科理学療法専攻 教授 (学科長) 大学院保健学研究科 教授 広島医療保健専門学校 教務部長
令和 5 年 4 月～現在	広島都市学園大学健康科学部リハビリテーション学科 理学療法専攻 教授 (学科長) 大学院保健学研究科 教授 広島都市学園大学附属図書館長

専門分野

中枢神経系、運動療法学、運動学、体表解剖学

主な担当科目

体表解剖学、運動学実習、基礎運動療法学、基礎運動療法学演習

研究テーマ

ハイレゾリューションサウンドが身体に及ぼす影響について
障害児のADL機器の開発

ひとこと

理学療法士を目指す皆さんへ、

皆さんが目指そうとしているは、人々の健康と生活の質を向上させる素晴らしい職業です。理学療法士としてのキャリアは、患者さん一人ひとりの回復をサポートし、患者さんの生活に大きな変化をもたらすことができます。

次のポイントを心に留めて、理学療法士になるために、目標に向かって頑張りましょう。

①情熱を持ち続けること

理学療法は、身体の機能回復や痛みの軽減を目指す仕事です。患者さんの笑顔や感謝の言葉が、皆さんの情熱を支える大きな力となるでしょう。

②学び続けること

医療の分野は常に進化しています。新しい技術や治療法を学び続けることで、より良いケアを提供できるようになります。常に好奇心を持ち、最新の情報を取り入れてください。

③コミュニケーション能力を磨くこと

患者さんとの信頼関係を築くためには、優れたコミュニケーション能力が必要です。患者さんの話に耳を傾け、共感し、適切なアドバイスを提供することが大切です。

④チームワークを大切にすること

理学療法士は、医師や看護師、他の医療専門職と協力して患者さんの治療にあたります。チームの一員としての役割を理解し、協力し合うことが重要です。

⑤自分自身を大切にすること

患者さんのケアに全力を尽くすことは大切ですが、自分自身の健康やメンタルヘルスも忘れずにケアしてください。バランスの取れた生活を心がけましょう。

皆さんの努力と情熱が、未来の理学療法士としての成功に繋がることを心から願っています。頑張ってください！ 応援しています。

その他（所属学会・団体）

日本理学療法士協会、日本自律神経学会、日本職業・災害医学会

研究活動

学術論文

- 1) 重症片麻痺患者に対するスチールチェアを用いた歩行訓練の有用性（共）〔伊藤祥史、丸石正治、長通絵〕

里子、高木昭輝)理学療法学 24 (supplement No.2),266,1997-04-20

2) 障害に対する初期対応はどうか : 退院前ケアマネジメントの重要性 (共) [伊藤祥史、丸石正治、長通絵里子、高木昭輝] 理学療法学 24 (supplement No.2),28,1997-04-20

3) エアマットレスの硬さの変化が咳嗽力と肺機能に与える影響 (共) [上川 紀道 , 伊藤 祥史 , 関川 清一 , 濱田 泰伸、他 7 名]日本理学療法学会大会 2011(0), Da0982-Da0982, 2012

4) 若年喫煙者における局所運動時の活動筋酸素動態に関する研究 (共) [伊藤祥史, 関川清一, 稲水惇, 濱田泰伸他 5 名]理学療法の臨床と研究 22 : 37-41,2013

5) Lifting 動作に関する筋電図学的研究—健常者における腰部傍脊柱筋の筋活動および持ち上げ速度の観点 (共) [波之平晃一郎、伊藤祥史、橋本祥一、藤村昌彦]日本職業・災害医学会会誌 巻 : 61 号 : 臨時増刊号 ページ : BETSU109、2013.10

6) 持ち上げ動作における右方向捻りと左方向捻りに関する筋電図学的検討 (共) [狩生直哉、波之平晃一郎、伊藤祥史、藤村昌彦]日本職業・災害医学会会誌 巻 : 61 号 : 臨時増刊号 ページ : BETSU109、2013.10

7) 体幹伸展制限が持ち上げ動作に与える影響 (共) [小寺睦、伊藤祥史、藤村昌彦]日本職業・災害医学会会誌 巻 : 62 号 : 臨時増刊号 ページ : BETSU171

8) ハイレゾリューション音源が自律神経機能に及ぼす影響について (共) [原田俊英, 山本竜太, 伊藤祥史, 石崎文子, 他 5 名]診療と新薬 巻 : 51 号 : 3 月号 ページ : 331-334.2013 9) 持ち上げ動作における利き腕の影響に関する筋電図学的検討 (共) [狩生直哉、波之平晃一郎、伊藤祥史、藤村昌彦]日本職業・災害医学会誌 62 巻 4 号 253~258

10) 体幹及び下肢関節伸展制限が持ち上げ動作に与える影響 (共) [小寺 睦、伊藤祥史、藤村昌彦] 日本職業・災害医学会誌 63 巻 3 号 176~182 2015/5/1

11) ハイレゾリューション・オルゴール音による自律神経機能に及ぼす影響 (共) [原田俊英, 山本竜太, 伊藤祥史, 石崎文子, 他 5 名]診療と新薬 52(3): 382-390.2015

12) ハイレゾリューション・オルゴール音の脳機能への影響 (共) [宮口真梨菜, 原田俊英, 石崎文子, 伊藤祥史, 他 6 名]診療と新薬 51(3): 331-334.2015

13) リラックスさせる音楽と不安を感じさせる音楽の自律神経機能に及ぼす影響についての検討 (共) [庫井亮輔,原田俊英,伊藤祥史,他 6 名]診療と新薬 第 53 (1) : 33~37.2015 14) Effect of High-Resolution Audio Music Box Sound on EEG (共) [Shoji Ito, Toshihide Harada, Fumiko Ishizaki 他 6 名] International Medical Journal Vol. 23, No. 2, pp. 142 - 144 , April 2016

15) Effect of High-Resolution Audio on Function of Autonomic Nervous System (共) [Shoji Ito, Toshihide Harada, Fumiko Ishizaki,他 6 名]International Medical Journal Vol. 23, No. 4, pp. 339 - 341 , August 2016

16) ハイレゾリューション・オルゴール音による末梢血管系への影響 (共) [森脇愉子,原田俊英, 石崎文子, 伊藤祥史, 他 7 名]診療と新薬 51(3): 331-334.2016

17) Study of Objective Evaluation of Effect of Psychological Relaxation Using Classic Music (共) [Harada T, Ishizaki F, Ito S,他 9 名]International Medical Journal Vol. 24, No. 1, pp. 31 - 33, Feb. 2016

18) Influences of High-Resolution Music Box Sounds on the Peripheral Vascular System (共) [Toshihide Harada, Yuko Moriwaki,Shoji Ito,他 9 名]International Medical Journal Vol. 23, No. 6,

pp. 709-711, December 2016

- 19) 介護負担者軽減を目的とした寝返りボードの試作と有効性の検討 (共) [大塚彰、馬屋原康高、平井秀雄、甲田宗嗣、伊藤祥史、富樫誠二]健康科学と人間形成 vol.2 No.1.2016
- 20) リュックサックの肩ベルトの長さに関する筋電図学的考察-立ち上がり動作におよぼす影響- (共) [岡田隆子、伊藤祥史、藤村昌彦]日本職業・災害医学会誌 64 巻 5 号 265~270 2016/9/1
- 21) ハイレゾリューション・オルゴール音による自律神経機能への影響について (共) [伊藤祥史, 原田俊英,石崎文子、他 4 名]診療と新薬 2017; 54: 133-136 2017 年 2 月
- 22) ハイレゾリューション・オルゴール音の量子化ビット数の違いが自律神経機能に及ぼす影響 (共) [伊藤祥史, 原田俊英, 石崎文子,他 6 名]診療と新薬 2017; 54: 137-140 2017 年 2 月
- 23) ヘッドホンから出力したハイレゾリューション・オルゴール音による自律神経機能への影響 (共) [伊藤祥史, 原田俊英, 石崎文子,他 6 名]自律神経 54(2): 130 -136 2017
- 24) 重量物持ち上げ動作における Shout 効果に関する筋電図学的研究 (共) [田中絵梨、伊藤祥史、藤村昌彦]日本職業・災害医学会誌 65 巻 4 号 184~189 2017/7/1
- 25) 臨床実習における理学療法学生の自己評価としての成果に関する意識調査 (共) [甲田 宗嗣 ,上川 紀道,伊藤 祥史 ,平岩 和美 ,馬屋原 康高,大塚 彰, 富樫 誠二]健康科学と人間形成
- 26) 不安定な足場における持ち上げ動作に関する筋電図学的研究 (共) [藤村昌彦、伊藤祥史]日本職業・災害医学会誌 第 66 巻 pp.447-452 2018 年 11 月
- 27) Relationship between the characteristics of symptoms and esophageal hiatal hernia in aged patients. (共) [Harada T, Ishizaki F, Nitta Y, Miki Y, Hayama M, Ito S, Miyazaki H, Aoi S, Ikeda H, Iida T, Ando J, Nitta K]International Medical Journal 26 (2): 84-85, 2019.4.
- 28) .Impacts of high-resolution and high-cut music box audio on balance. (共) [Harada T, Aonaka J, Miyazaki H, Ishizaki F, Kodama Y, Ito S, Nitta Y, Miki Y, Yamamoto R, Niyada K, Aoi S, Ikeda H, Iida T, Suehiro K, Nitta K]International Medical Journal 26 (2): 118-121, 2019.4.
- 29) Relationship between characteristics of genetic study and Kartagener syndrome of elderly people. (共) [Nitta K, Harada T, Ishizaki F, Nitta Y, Miki Y, Hayama M, Ito S, Miyazaki H, Aoi S, Ikeda H, Iida T, Ando J, Ito M, Asakura Y]International Medical Journal 26 (4): 316- 317, 2019.8
- 30) Relationship between the characteristics of a late-onset familial giant thyroid cyst and aspiration treatment. (共) [Harada T, Ishizaki F, Nitta Y, Miki Y, Hayama M, Ito S, Miyazaki H, Aoi S, Ikeda H, Iida T, Ando J, Nitta K]International Medical Journal 26 (4): 318-320, 2019.8.
- 31) Relationship between Characteristics of Genetic Study and Essential Thrombocythemia in Aged Patients (共) [Toshihide Harada,Fumiko Ishizaki,Yumiko Miki, Yumiko Nitta,Miwa Hayama,Jyunnya Aonaka,Yuko Kodama,Shoji Ito, Ryuta Yamamoto, Katsuyuki Niyada, Hiroyuki Miyazaki,Satomi Aoi, Hiromi Ikeda, Tadayuki Iida, Hanayo Hiroto,Juko Ando,Kohsaku Nitta] International Medical Journal 26 (5): 438-439, 2019.10
- 32) 35.持ち上げ動作の指導における背部テーピング効果に関する筋電図学的考察 (共) [藤村昌彦、伊藤祥史、

上川紀道]

33) 自然音聴取による自律神経機能への影響 (共) [伊藤祥史, 原田俊英, 山本竜太, 二矢田勝行, 宮崎洋幸, 石崎文子]健康科学と人間形成 VOL.9No1 2023

その他 (学会発表等)

- 1) 「重症片麻痺患者に対するスチールチェアを用いた歩行訓練の有用性」(共) [伊藤祥史, 丸石正治, 長通絵里子, 高木昭輝]第 32 回日本理学療法士学会 大宮ソニックシティ 1997 年 5 月 16 日
- 2) 「障害に対する初期対応はどうか : 退院前ケアマネジメントの重要性」(共) [長通絵里子, 丸石正治, 伊藤祥史, 高木昭輝]第 32 回日本理学療法士学会 大宮ソニックシティ 1997 年 5 月 16 日
- 3) 「肩甲骨挙上時の肩甲骨回旋角度測定のばらつきについて」(単) 第 11 回広島県理学療法士学会 2006 年 12 月 3 日
- 4) エアマットレスの硬さの変化が咳嗽力と肺機能に与える影響 (共) [上川 紀道 , 伊藤 祥史 , 高橋 真 , 関川 清一 , 濱田 泰伸, 他 6 名]第 46 回日本理学療法学会 2011
- 5) Lifting 動作に関する筋電図学的研究—健常者における腰部傍脊柱筋の筋活動および持ち上げ速度の観点から (共) [波之平晃一郎 , 伊藤祥史, 橋本祥一, 藤村昌彦]第 59 回日本職業・災害医学会学術大会 2011
- 6) 持ち上げ動作における右方向捻りと左方向捻りに関する筋電図学的検討 (共) [狩生直哉 , 波之平晃一郎 , 伊藤祥史 , 藤村昌彦]第 61 回日本職業・災害医学会学術大会 2013 7) 体幹伸展制限が持ち上げ動作に与える影響 (共) [小寺睦 , 伊藤祥史 , 藤村昌彦]第 62 回日本職業・災害医学会学術大会 2014
- 8) 体幹及び下肢関節伸展制限が持ち上げ動作に与える影響 (共) [小寺睦 , 伊藤祥史 , 藤村昌彦]第 63 回日本職業・災害医学会学術大会 2015
- 9) 持ち上げ動作における利き腕の影響に関する筋電図学的検討 (共) [狩生直哉, 波之平晃一郎, 伊藤祥史, 藤村昌彦]第 63 回日本職業・災害医学会学術大会 2015
- 10) 「ハイレゾリューション音源による自律神経機能への影響」第 68 回日本自律神経学会,愛知県産業労働センターウインクあいち 2015 年 10 月 30 日
- 11) 「ヘッドフォンから出力したハイレゾリューション音が自律神経機能へ及ぼす影響について」第 69 回日本自律神経学会,くまもと県民交流館パレア, 2016 年 11 月 11 日
- 12) リュックサックの肩ベルトの長さが立ち上がり動作に及ぼす影響—筋電図学的研究— (共) [岡田隆子, 伊藤祥史, 藤村昌彦]第 63 回日本職業・災害医学会学術大会 2016/10/23
- 13) 持ち上げ動作における声出し効果の検討 (共) [田中絵梨, 伊藤祥史, 藤村昌彦]第 64 回日本職業・災害医学会学術大会 2016/10/23
- 14) 「Effects of High-resolution Musical Box Sounds on the Autonomic Nervous Function and Findings from Order Changes of Hearing Sounds」ISAN2017 愛知県産業労働センター ウインクあいち 2017 年 9 月 1 日
- 15) 「EFFECTS OF HIGH-RESOLUTION SOUND OUTPUT FROM PORTABLE AUDIO EQUIPMENT ON AUTONOMIC NERVOUS FUNCTION」WCN2017 京都国際会議場 2017 年 9 月 18 日
- 16) 「足関節の可動性を制限した持ち上げ動作に関する筋電図学的考察」(共) [藤村 昌彦, 伊藤祥史]第 66 回日本職業・災害医学会学術大会 2018. 10 月 20 日
- 17) 「ハイレゾ音の生理実験と効果」文部科学省平成 30 年地域イノベーション戦略プログラム ひろしま医工連携・先

進医療イノベーション拠点活動成果報告会（共）〔伊藤祥史、原田俊英、石崎文子、二矢田勝行、宮崎洋幸、山本竜太、末廣憲治〕2018.9.7 広島大学 霞キャンパス 広仁会館

18) 「持ち上げ動作の指導における背部テーピング効果に関する筋電図学的考察」（共）〔藤村昌彦、伊藤祥史、上川紀道〕第 67 回日本職業・災害医学会学術大会（東京）

19) 「自然音（雨音、波）を聴取した時の自律神経機能への影響について」（共）〔伊藤祥史、原田俊英、石崎文子、二矢田勝行、宮崎洋幸、山本竜太、末廣憲治〕第 72 回日本自律神経学会

20) 「ハイレゾリューション・自然音を聴取したときの自律神経機能への影響について」（共）〔宮崎洋幸、原田俊英、石崎文子、二矢田勝行、伊藤祥史、山本竜太、末廣憲治〕第 72 回日本自律神経学会

21) 「立位補助装置がウエスト症候群に与える影響についての研究」（共）〔伊藤 祥史,大塚 彰,森川 敦子,前重 壮寿,坂本優捺,峠 雅人,林拓馬,岡田将哉〕第 52 回 日本人間工学会中国・四国支部大会

22) 「ハイレゾリューションサウンド（自然音）を聴取した時の自律神経機能への影響について」（共）〔伊藤祥史、原田俊英、石崎文子、二矢田勝行、宮崎洋幸、山本竜太〕第 44 回日本心身医学会中国・四国地方会

2022

23) 「重量物持ち上げ動作指導に関する体幹前傾回避戦略に関する考察」（共）〔藤村昌彦、伊藤祥史、上川紀道、安達晃平、大石将晴、鹿瀬優里、河岡 麗〕第 71 回 日本職業・災害医学会学術大会 2023

24) 「筋電図を用いた重量物取り扱い指導の効果検証」（共）〔藤村昌彦、伊藤祥史、上川紀道、安達晃平、大石将晴、鹿瀬優里、河岡 麗〕第 27 回広島県理学療法士学会 2023

.....